

求人情報について

学校法人静岡理工科大学は1940年に「技術者の育成をもって地域社会に貢献する」を建学の精神として設立され、静岡理工科大学を中心に中学校2校、高等学校2校、専門学校6校、各種学校2校からなる総合学園です。

静岡理工科大学の先端機器分析センターは、学内で利用する比較的大型で、共通性のある分析機器を集中管理し、機器の性能維持や新しい活用法の開発などを通して、研究・教育活動を支援することを目的に設立されました。現在は27機種が稼働しており、これら分析装置は3年生の学生実験、4年生の卒業研究、大学院生の修士論文研究、および教員の研究で年間2,000件程度の利用があります。また、これら分析装置は地域企業にも開放しており、年間200件程度の利用があります。

本学が立地する静岡県は、製造業や農水産業が盛んな地域ですが、自社で研究開発環境を整備することが困難な中小企業も多くあります。先端機器分析センターは、学内の教育研究支援に加えて、地域企業における新たな材料開発や分析技術の向上に貢献することを目指しています。

今後、さらなる教育・研究活動を展開していく上で、学校運営に興味とやりがいをもつ経験豊かな技術系の職員を募集します。ご応募をお待ちしております。

技術系職員募集

【仕事の内容】

静岡理工科大学の『先端機器分析センター』において、「技術職員」として、教育研究支援、学外利用者への技術支援、およびセンターの管理的業務に従事していただきます。

【勤務地】

静岡理工科大学 先端機器分析センター（袋井市）

【応募資格】

- （1）センター保有の分析機器に関する専門知識、実務経験と成果（原著論文等の発表など）を有し、学内外利用者に対して学術的に的確な分析技術支援ができること。

主要機器：走査型電子顕微鏡、X線回折装置、各種分光分析装置、熱分析装置、核磁気共鳴装置、ガスクロマトグラフ質量分析計、リアルタイムPCR、マイクロプレートリーダー等

- （2）地域の研究開発拠点としての先端機器分析センターの運営に携わり、発展に寄与できること。
- （3）これまでの専門分野のみに固執するのではなく、他の専門分野や技術等にも興味を持って学び、挑戦することができること。

【採用日】

令和3年4月1日（相談に応じます）

【勤務時間】

8：50～17：50

【勤務日】

勤務カレンダーによる。 ※令和元年度所定労働日数242日、所定労働日数1928時間

【給与等】

本学校法人の規程による。

【雇用形態】

大学技術職員（正規職員）※1年目は契約職員として採用。契約期間満了後、評価結果により正規職員に登用

【待遇・福利厚生】

定期昇給年1回、賞与年2回、社会保険完備、退職金制度あり

【応募方法】

履歴書、業務経歴書（本書の応募資格（1）に記載しているセンター保有の主要機器に関する実務経験について詳細をまとめた書類を含む）を令和2年9月30日（水）までにご郵送ください。

※求人情報については以下のURLから参照いただけます。

静岡理工科大学HP <https://www.sist.ac.jp/news/saiyou/index.html>

学校法人静岡理工科大学HP <http://www.sist-net.ac.jp>

問合せ先 静岡理工科大学 事務局総務部総務課 担当 大濱

TEL：0538-45-0111, FAX：0538-45-0110

以上